



第34回 荒尾市在宅医療連携室事例検討会！

令和2年12月2日（水）

荒尾市民病院

がん化学療法看護認定看護師 森田 茂美
緩和ケア認定看護師 松山 美保

「アドバンス・ケア・プランニング～ワークショップ～」

第34回荒尾市在宅事業事例検討会で「アドバンス・ケア・プランニング～ワークショップ～」を開催しました。私たちが看護分野認定看護師は、2017年より、荒尾市民病院の職員および地域の医療・介護従事者を対象に、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する研修会を実施してきました。今年度は一般の方への普及活動として、地域の方々に対する「もしバナゲーム」の出前講座も計画していましたが、COVID-19の影響で依頼があった講座は全てキャンセルとなりました。この様な状況の中、この事例検討会に参加していただいた20名の多職種の方々に感謝いたします。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、「今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者が患者自らの意向に基づき予め話し合うプロセス」のことです。アドバンス・ケア・プランニング（ACP）は病気になってからではなく、元気な時に少しずつ「もしも自分が病気になったなら…」を考え、話し合っていくことが大切です。With コロナだからこそ、より大切なのではないのでしょうか。

今回は『医療における意志決定』をテーマに、群馬大学大学院が作成したDVD、「ドラマで考える医療倫理」を使用したワークショップを行いました。

DVDのあらすじは・・・<元小学校教諭の堀山ふねさん（70）は、肺の病気のため、夫と二人の娘に支えられながら在宅酸素療法を続けています。ある雨の夜、ふねさんはあまりの息苦しさで救急車で病院に搬送されます。診療した主治医は、「人工呼吸器をつけないと命があぶない」と夫に告げます。>



DVD視聴後にグループワーク（多職種）を行いました。グループワーク①、夫・娘のそれぞれの立場になりきって、どのような思いでいるかを想像して付箋に思いつくまま書いていき、その後その共通点、違い、他の意見への感想など自由に話してもらいました。グループワーク②では、下記の3つの問いに関してディスカッションをしてもらいました。

- ・ 一刻をあらそうときの、重要な意志決定について、ふねさんがこの家族の状況を見ていたらどう思うでしょうか？
- ・ 何か準備できたことはあったでしょうか？
- ・ 大切な方針を決めるのは、誰なのでしょう？

これらの問いに決まった答えはありません。それぞれの職種や個人の価値観などから、いろいろな意見を交換していくことが大切なのです。このワークショップがアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の必要性やタイミングの難しさなどを考えるきっかけであったらと思います。

参加者の感想です。（抜粋）

- ・ とても有意義な検討会でした。とてもまとめきれない分、沢山の思いや価値観に触れることが出来たと思います。今後、自身がどういったACPの立場で支援出来るのかについて考えさせられました。
- ・ 多職種と、意見交換することが出来て良かったです。急変時どうするのか？と思う事が多くあります。医療者側も患者様が望む治療が出来る事が一番と思います。ACP考えていきたいです。

「住み慣れた場所で、自分らしく最期まで過ごしていく」そんなみなさんの思いや願いのお手伝いが少しでもできる様に、今後もアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の地域活動を続けていきたいと思っています。



第35回 荒尾市在宅医療連携室事例検討会！

令和3年2月17日（水）

今回は、WEB開催として特別に、第58回日本医療・病院管理学会学術集会で発表した記録動画を視聴して頂きました。

テーマ「シンポジウム発表からみる荒尾の未来」

WEB参加者 34名

今回 初めてWEBでの事例検討会を開催しました。参加された皆様からのWEB研修に関するアンケート結果の一部をご紹介します。

- ・ オンラインであれば、自宅からの参加も可能なので、参加しやすさはあると思います。
- ・ 通信のトラブルがあった時が困ると感じます。
- ・ 直接顔を合わせ話せる方が、ディスカッションはやりやすいと思います。
- ・ ホストの負担が大きいのではないかと思います。
- ・ セキュリティの問題あり、実際の事例を使用するの事例検討会は難しいと思う。
- ・ 個々のネット環境の違いで、どうしても調整が難しいといったことは出てくると思いますので、必要に応じて会館での開催とWEBでの開催と行ってもらえると、とても有難いと思います。



荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらか
荒尾市宮内 1092-18(荒尾市医師会敷地内)
TEL:0968-57-9350 FAX:0968-57-9605
<http://zaitaku.arao-med.or.jp>
ホームページにも載せておりますのでご覧ください

担当:青木 浦